

# 第Ⅲ部 調査結果の詳細

### 【報告書を読む際の注意】

- (注1) 小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (注2) 「n」は「number of case」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- (注3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (注4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並び替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (注5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (注6) 数値間の比較で大小関係を示す場合は、個々の選択肢の比率の差を取り、「…ポイント増（減）」等という表現を使っている。
- (注7) 男女の18～19歳などのサンプル数の少ない属性については参考値であり、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- (注8) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。



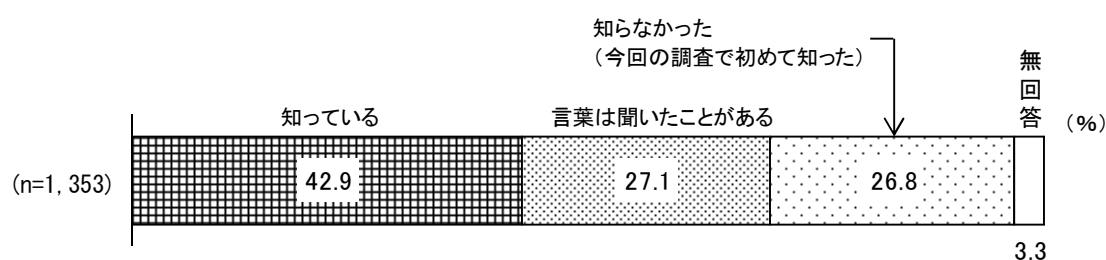
## 第1章 気候変動への適応【問1～問2-2】

### 1 「気候変動への適応」の認知度【問1】

#### 【全体の状況】

「気候変動への適応」について知っているか尋ねたところ、「知っている」が42.9%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が27.1%であった。（図表1-1-1）

図表1-1-1 「気候変動への適応」の認知度



#### 【地域別の状況】

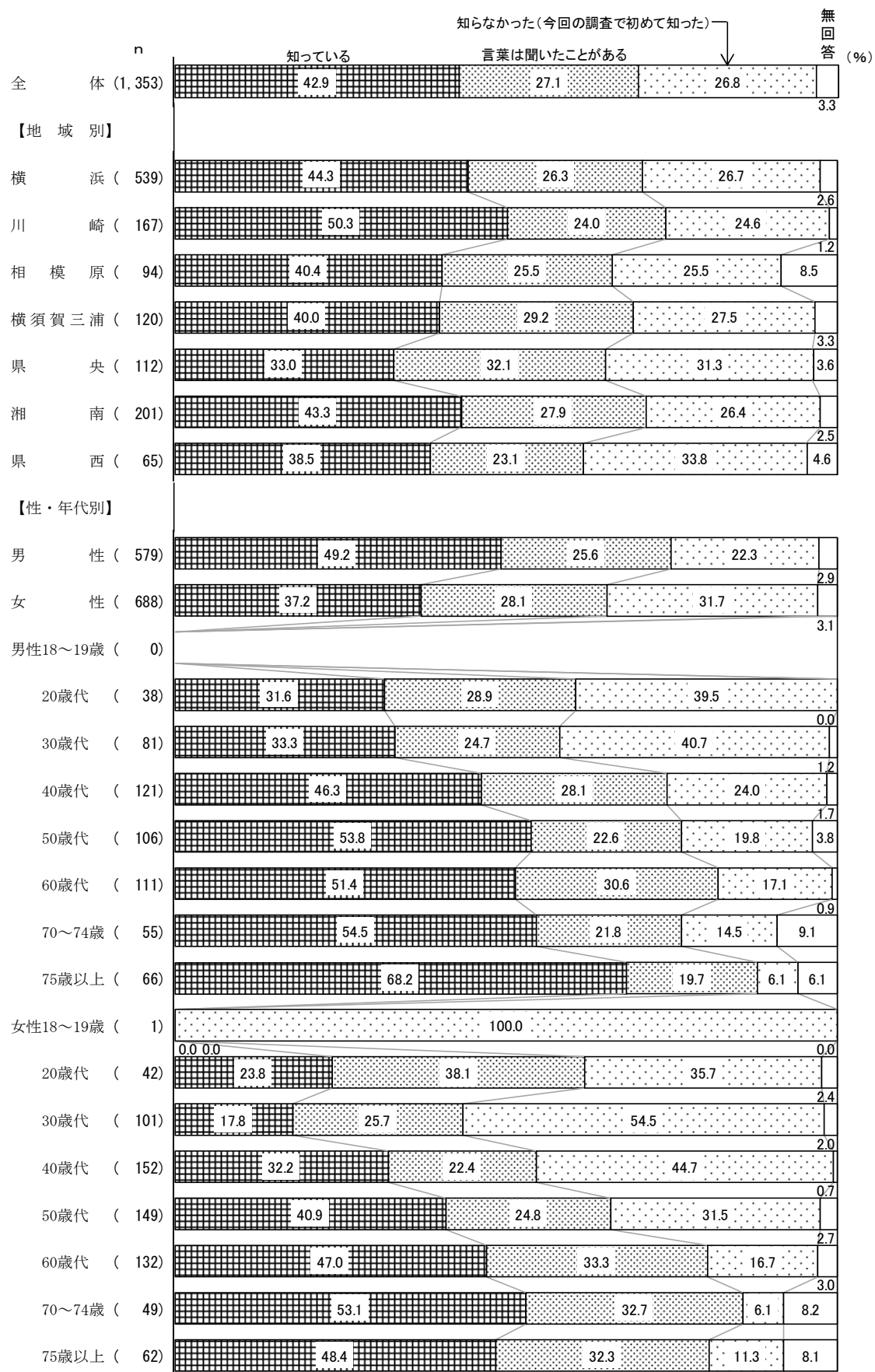
地域別にみると、「知っている」は、川崎が50.3%で最も多かった。また、「言葉は聞いたことがある」は、県央が32.1%で最も多かった。（図表1-1-2）

#### 【性・年代別の状況】

性別にみると、「知っている」は、男性（49.2%）が女性（37.2%）を12.0ポイント上回った。

性・年代別にみると、「知っている」は、男性の75歳以上が68.2%で最も多かった。また、「言葉は聞いたことがある」は、女性の20歳代が38.1%で最も多かった。（図表1-1-2）

図表1-1-2 「気候変動への適応」の認知度—地域別、性・年代別



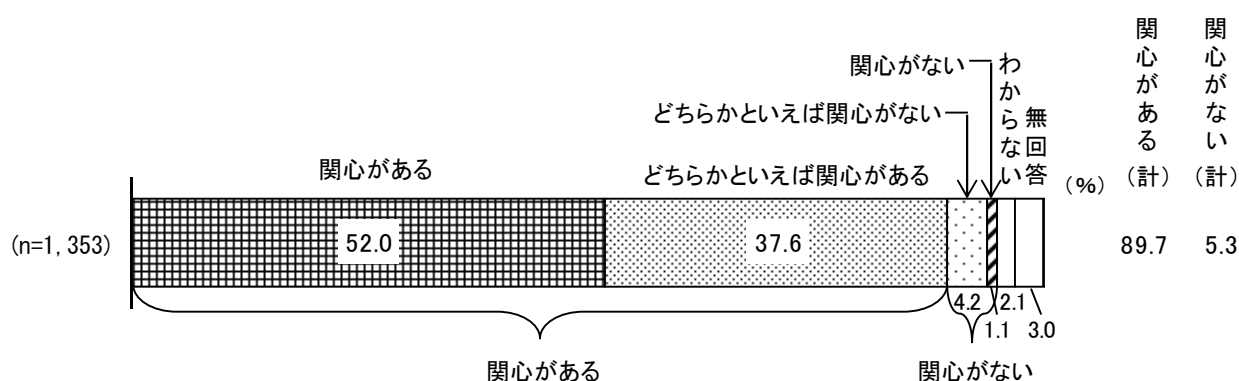
## 2 「気候変動への適応」への関心【問2】

### 【全体の状況】

「気候変動への適応」に関心があるか尋ねたところ、「関心がある」(52.0%)と「どちらかといえば関心がある」(37.6%)を合わせた《関心がある》は89.7%であった。

一方、「関心がない」(1.1%)と「どちらかといえば関心がない」(4.2%)を合わせた《関心がない》は5.3%であった。(図表1-2-1)

図表1-2-1 「気候変動への適応」への関心



### 【地域別の状況】

地域別にみると、《関心がある》は、横須賀三浦が95.0%で最も多く、次いで川崎が94.0%であった。

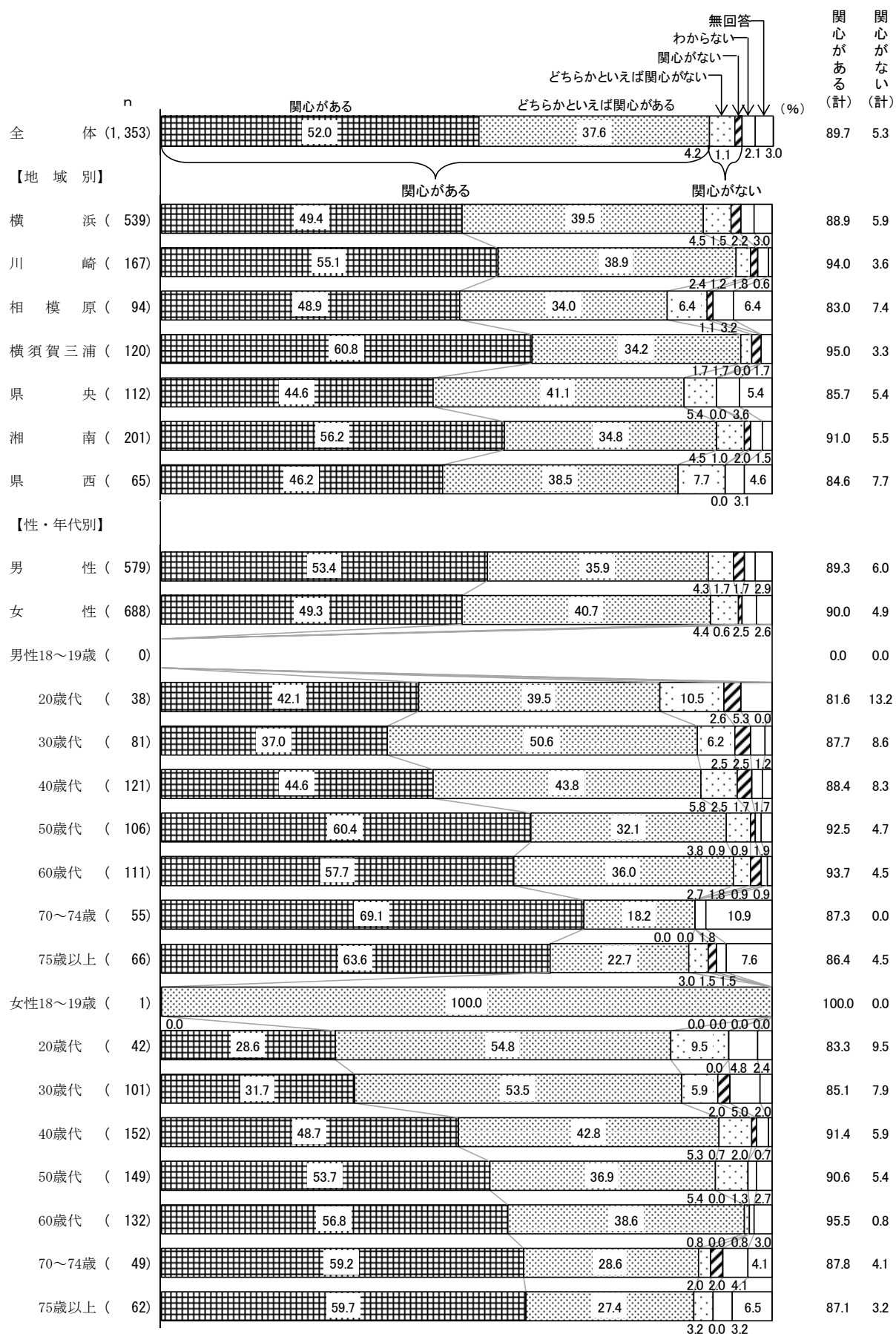
なお、《関心がない》は、全地域(3.3%~7.7%)で1割に満たなかった。(図表1-2-2)

### 【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、《関心がある》は、サンプル数の少ない女性の18~19歳を除くと、男性の50歳代(92.5%)・60歳代(93.7%)、女性の40~60歳代(90.6%~95.5%)がそれぞれ9割を超えた。

なお、《関心がない》は、男性20歳代(13.2%)を除くすべての性・年代(0.0%~9.5%)で1割に満たなかった。(図表1-2-2)

図表1-2-2 「気候変動への適応」への関心—地域別、性・年代別



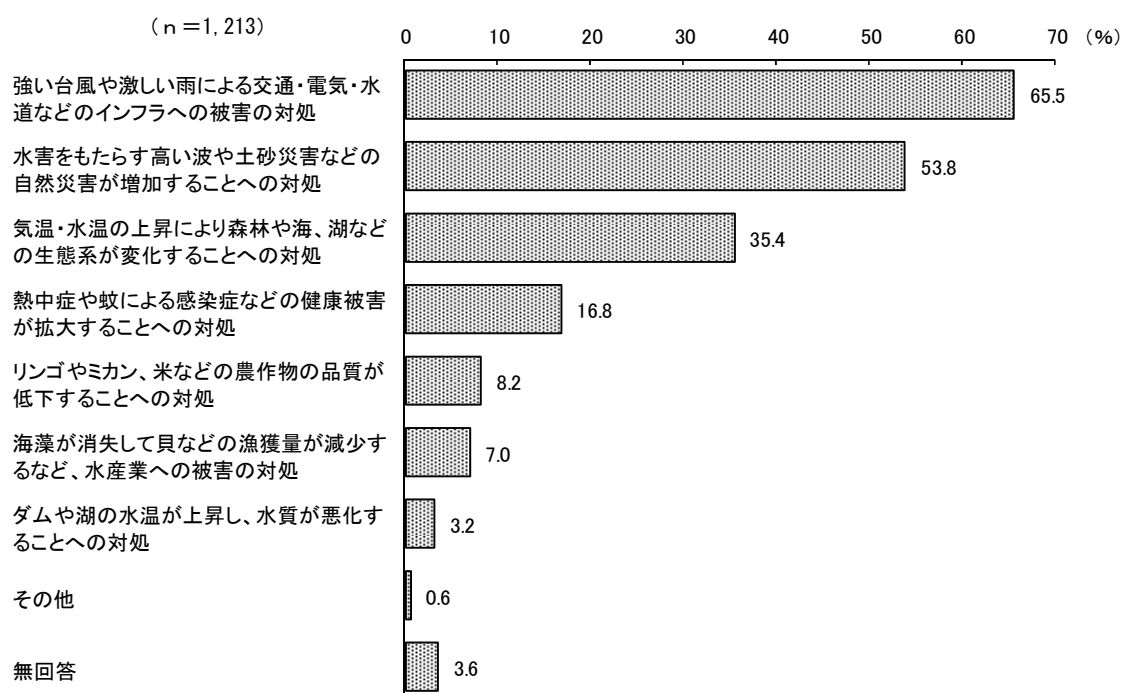
### 3 「気候変動への適応」の中で関心があるもの【問2-1】

#### 【全体の状況】

「気候変動への適応」への関心（問2）で、「関心がある」と回答した1,213人に「気候変動への適応」の中で特に関心があるものを複数回答（2つまで選択可）で尋ねたところ、「強い台風や激しい雨による交通・電気・水道などのインフラへの被害の対処」が65.5%で最も多く、次いで「水害をもたらす高い波や土砂災害などの自然災害が増加することへの対処」が53.8%であった。

（図表1-3-1）

図表1-3-1 「気候変動への適応」の中で関心があるもの（複数回答）



#### 【地域別の状況】

地域別にみると、「強い台風や激しい雨による交通・電気・水道などのインフラへの被害の対処」は、県西が69.1%で最も多く、県央（68.8%）と湘南（68.3%）が約7割で続いた。また、「水害をもたらす高い波や土砂災害などの自然災害が増加することへの対処」は、横須賀三浦が61.4%で最も多く、湘南（59.0%）と川崎（58.6%）が約6割で続いた。（図表1-3-2）

#### 【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「強い台風や激しい雨による交通・電気・水道などのインフラへの被害の対処」は、サンプル数の少ない女性の18～19歳を除くと、男性の20歳代（71.0%）・60歳代（74.0%）・70～74歳（70.8%）、女性の75歳以上（72.2%）がそれぞれ7割を超えた。また、「水害をもたらす高い波や土砂災害などの自然災害が増加することへの対処」は、男性の70～74歳（62.5%）、女性の70～74歳（62.8%）・75歳以上（63.0%）がそれぞれ6割台であった。（図表1-3-2）

図表1-3-2 「気候変動への適応」の中で関心があるもの（複数回答）—地域別、性・年代別

		(%)											
	n	対気強い 処・水 台風 など の激 しい 雨に よる 交通 被害 の電	処どの 自然 災害 が増 加す るこ とと 砂災 害な	湖水 など の生 態系 が変 化す るこ とと 海、	気温 の上 昇に よる 森林 や海	熱中 症や 蚊に よる 感染 症な どの 健康	被害 が拡 大す ること への 対処	リン ゴや ミカ ン、 米な どの 農作 物の	品質 が低 下す ること への 対処	少海 す藻 るが など 、消 失し て貝 など の漁 獲量 が減	化ダム するや こと湖 へのの 水温 が上 昇し 、水 質が 悪	その他	無 回 答
全 体	1,213	65.5	53.8	35.4	16.8	8.2	7.0	3.2	0.6	3.6			
【地 域 別】													
横 浜	479	65.3	50.7	37.4	18.0	6.5	5.6	4.0	0.6	4.8			
川 崎	157	60.5	58.6	36.9	14.6	8.9	8.9	2.5	-	3.8			
相 模 原	78	60.3	50.0	26.9	17.9	10.3	14.1	5.1	1.3	5.1			
横 須 賀 三 浦	114	64.0	61.4	36.8	9.6	10.5	8.8	2.6	-	1.8			
県 央	96	68.8	45.8	29.2	21.9	9.4	12.5	3.1	1.0	2.1			
湘 南	183	68.3	59.0	35.5	16.4	8.2	3.3	2.7	-	2.2			
県 西	55	69.1	49.1	40.0	18.2	9.1	5.5	-	1.8	3.6			
【性・年代別】													
男 性	517	67.5	52.6	35.6	16.1	7.2	6.8	3.1	0.6	3.9			
女 性	619	62.8	54.6	35.9	17.8	9.2	7.8	3.4	0.5	3.1			
男性18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
20歳代	31	71.0	41.9	25.8	25.8	22.6	3.2	3.2	-	3.2			
30歳代	71	63.4	47.9	33.8	19.7	5.6	7.0	4.2	-	8.5			
40歳代	107	59.8	44.9	40.2	18.7	10.3	11.2	4.7	1.9	2.8			
50歳代	98	68.4	57.1	31.6	15.3	5.1	4.1	2.0	-	6.1			
60歳代	104	74.0	56.7	42.3	11.5	3.8	2.9	1.9	1.0	1.0			
70～74歳	48	70.8	62.5	35.4	10.4	-	8.3	-	-	6.3			
75歳以上	57	68.4	54.4	29.8	15.8	10.5	10.5	5.3	-	-			
女性18～19歳	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-			
20歳代	35	60.0	48.6	45.7	11.4	8.6	11.4	5.7	-	2.9			
30歳代	86	59.3	43.0	38.4	23.3	5.8	7.0	1.2	2.3	8.1			
40歳代	139	56.1	58.3	38.1	24.5	6.5	7.9	2.9	-	2.9			
50歳代	135	63.0	54.8	34.8	17.8	9.6	6.7	3.0	-	4.4			
60歳代	126	66.7	54.0	38.1	15.1	11.1	5.6	3.2	0.8	0.8			
70～74歳	43	69.8	62.8	23.3	9.3	11.6	11.6	9.3	-	-			
75歳以上	54	72.2	63.0	27.8	7.4	14.8	11.1	3.7	-	-			

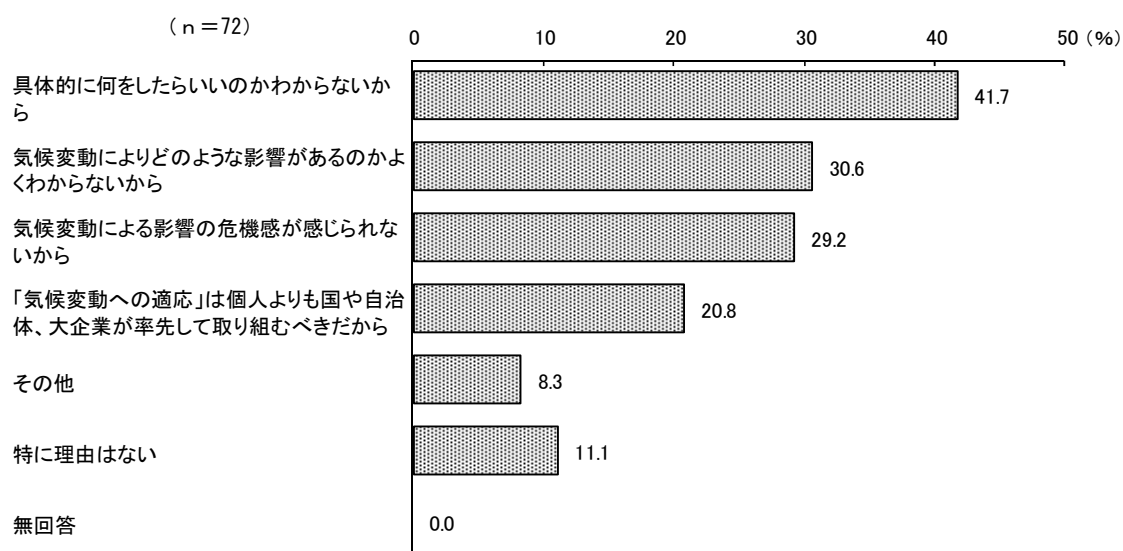


#### 4 「気候変動への適応」に関心を持つことが難しい理由【問2-2】

##### 【全体の状況】

「気候変動への適応」への関心（問2）で、「関心がない」と回答した72人に「気候変動への適応」に関心を持つことが難しいと思う理由を複数回答（2つまで選択可）で尋ねたところ、「具体的に何をしたらいいのかわからないから」が41.7%で最も多く、「気候変動によりどのような影響があるのかよくわからないから」（30.6%）と「気候変動による影響の危機感が感じられないから」（29.2%）が約3割で続いた。（図表1-4-1）

図表1-4-1 「気候変動への適応」に関心を持つことが難しい理由（複数回答）



図表1-4-2 「気候変動への適応」に関心を持つことが難しい理由（複数回答）

－地域別、性・年代別

（サンプル数が少ないため参考）

		(%)						
	n	具体的な 何をした らいいの かわから ないから	気候変動 によりど のような 影響があ るのかよ くわから ないから	気候変動 による影 響の危機 感が感じ られない から	国や自治 体、大企 業が率先 して取り 組むべき だから	その他	特に理由 はない	無回答
全 体	72	41.7	30.6	29.2	20.8	8.3	11.1	-
【地 域 別】								
横 浜	32	37.5	31.3	34.4	18.8	12.5	9.4	-
川 崎	6	66.7	16.7	50.0	50.0	-	-	-
相 模 原	7	57.1	42.9	14.3	14.3	-	14.3	-
横 須 賀 三 浦	4	25.0	25.0	-	-	25.0	50.0	-
県 央	6	33.3	16.7	16.7	50.0	-	-	-
湘 南	11	36.4	36.4	27.3	9.1	9.1	9.1	-
県 西	5	40.0	40.0	40.0	-	-	20.0	-
【性・年代別】								
男 性	35	34.3	25.7	25.7	28.6	11.4	11.4	-
女 性	34	47.1	35.3	32.4	11.8	5.9	11.8	-
男性18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	5	40.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-
30歳代	7	14.3	28.6	28.6	28.6	-	14.3	-
40歳代	10	50.0	30.0	30.0	20.0	30.0	-	-
50歳代	5	20.0	20.0	-	60.0	-	20.0	-
60歳代	5	60.0	20.0	40.0	40.0	20.0	-	-
70～74歳	-	-	-	-	-	-	-	-
75歳以上	3	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-
女性18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	4	75.0	25.0	50.0	-	-	-	-
30歳代	8	25.0	50.0	37.5	-	-	25.0	-
40歳代	9	55.6	-	44.4	22.2	11.1	11.1	-
50歳代	8	50.0	62.5	-	12.5	12.5	-	-
60歳代	1	-	-	100.0	-	-	-	-
70～74歳	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
75歳以上	2	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-